

2020/11/29-2

(うと Q 世話し 悔しいので書直し版「目的談義」目的の勘違い?)

どうも力量が足りず、またまたご不興を招いてしまった様です。「目的談義」に関して。一つには、上梓した後直ぐに、一つの記事の中に内容を盛り込みすぎて焦点がぼやけてしまっているな、とは思ったのですが、読者の皆様からしてみれば、それ以上に「目的論議」で引き合いに出している例が抽象的過るか、疎遠なものにしか感じられなかった様です。そこで今少し卑近な例でのご説明を再度 try してみたいと思います。

主に、自分すらも気づかない目的(心の底からの願望)の勘違いと思い違い。

例えば

「私が lesson に励む目的は歌手になりたいからです。だって歌うことが好きだから」と或る少女が言ったとします。

或いは

「僕が練習に励むのはプロ野球選手になることが目的だからです。なぜなら野球が大好きだから」

でもいいでしょう。

そうして二人は異口同音に「それを達成するためには、どんなことでも頑張り抜きます」と決意表明をする。

ところが二人とも下積みばかりで、なかなか日の目を見ません。日も当たりません。当然満場の檜舞台は遙か彼方。

で、程なく二人とも歌手と選手稼業を止めて、普通の勤め人になってしまう。

で、質問です。

「では、二人の言っていた目的とは何だったのでしょうか？」

答えは

「二人の言っていたのは目的ではなく、目的達成の手段に過ぎなかった」となるような気がします。

そうして更に質問。

「それじゃあ、二人にとっての目的とは何だったのでしょうか？」

答えはおそらく

「お金と名誉(人気)」

無論それが悪いと言っているのでは全くありません。

只、二人とも本人すら気づかない儘、手段と目的或いは表向きの表明と心の奥底の願望とを勘違いしてしまった「無意識の混同、誤謬」が招いた「残念」に陥ってしまったのではないのでしょうか。

目的が「お金と人気」であるなら、もっと他にも方法があったでしょうし、本当に歌手や選手になりたかったのだったら、もっと下積みにも耐えられた気もするのですが。

「何が目的か」を知る事がとても大切だと自分は考えているのですが、その事に関して前の

記事よりこの記事の方が幾分なりとも分かり易かったでしょうか？

伝わらないのは悔しいので書き直してみました。

とまれ、本当の目的はその人の言葉より態度、行動、感情の発露に出ます。

相手や自分の本当の目的を知るにはそちらの方に目を向けた方がいいような気がしております。